

平成 27 年 6 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5 月の業種別景況の DI 値は、13 業種の内 4 業種が上昇、5 業種が悪化し、6 月は 1 業種が上昇で 5 業種が悪化しており、なかなか景況感は回復傾向に至っていない状況である。

更に、小売業や商店街で期待の高かったプレミアム付商品券は思うように売上に繋がっていない模様である。

また、一般機器、サービス業、建設業、運輸業の人手不足は継続しており、依然として中小企業者の大きな課題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 6 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：32.5% DI 値：▲26.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：17.5% 減少：35.0% DI 値：▲17.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：27.5% DI 値：▲18.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 6 月末現在）

	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満
--	-----------------	------------------	-------------------	--------

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲57.1	▲50.0	▲66.7	▲100.0	0.0	22.2	0.0	▲24.2

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲20.0	▲55.6	▲50.0	▲8.4	▲30.0	▲14.3	▲27.6

全 体
▲26.2

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	6月は菓子イベントとして、6/6ロールケーキの日、6/16和菓子の日が浸透しておらず、売上に繋がらない厳しい月であった。大型スーパーへの卸は好調なところが多い。	パン・菓子製造業
	5月度は対前年同月+20%。6月は6/26時点で昨年同月売上をクリア、最終+22%程度的大幅アップの予測。6/14NHK総合「サキどり」（全国放送）で大きく紹介された。経済産業省の「ふるさと名物応援事業」に山口県唯一の事業採択が決定し、事業テーマは「萩の地魚もったいないPJ-II レディース」。同じく、経済産業省のふるさとプロデューサー養成支援事業の受入先（全国28ヶ所）に決定した。こちらも山口県唯一。	水産食料品製造業 萩市
	販売量の減少が引き続いており厳しい。業界によっては景気の回復の話も聞くが、小売業は売上マイナスとなっているのではないか。今年も原料が上がるが、価格転嫁は非常に難しい。	水産食料品製造業 下関市
	円安のため、輸入原材料価格が高騰している。	水産食料品製造業 下関市
	長雨の影響で作物の生育状況が遅れ気味。また、TPP農業交渉の進展による米の輸入自由化の報道と米余りで米の取引価格の低下しており、米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが引き続き懸念されている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の販売不振に若干だが好転の兆しがあり、4月、5月に比べ6月は売り上げ増と7月～9月の操業日数6日間を増やす増産計画を予定している。実習生の受入れについては中国人の募集が困難となり、2月よりベトナム実習生の受入れをしている。現在、中国人43名、ベトナム人9名の計52名。中国人5名が実習満了となり帰国し先月報告時より減少しているが、7月度にベトナム人4名入国の予定である。年々実習生の技術力、語学力が低下しており、優秀な人材の確保が難しくなっている。	下着類製造業
	国内生産は確実に再評価されており、秋冬商品は順調に受注できている。5月末に破産した企業の萩市内にある2工場は再稼働に向けて活動している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	縫製工場の減少により受注が増加している。しかし採算が合うかといえは疑問な状態である。企業の減少について考えていかなければ、国内生産の未来は厳しいと思われる。	外衣・シャツ製造業 下関市

木材・木製品	新設住宅着工数は、低調に推移し前年並み。木材価格も下がったまま変化はない。	製材業・木製品製造業 山口市
	今月より受注した大型公共施設供給材料の製材を開始したが、一般の需要は確実に減少しており、工務店の職人不足も心配される。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	昨年は消費税増税があり特殊であるので、単純に前年同月との比較では、実際が求められない。4月、5月は思った以上に受注が大きく落ち込み、今後の課題である。組合員の一部でプレミアム付商品券の印刷が特需となっているところがあるが、6月も業界全体では収益が悪化している。	印刷 下関市
	6月は5月に比べ、多少売り上げは増加したものの、昨年と比べると、売り上げは減少した。	印刷 山口市
窯業・土石製品	骨材の販売は伸びが悪いが、路盤材・再生材の販売は伸びており良好である。資材単価の値上げ交渉は継続しているが、単価を下げるのは簡単だが、値上げするのには苦戦が続いている模様。	砕石製造業
	出荷量は、前月比101%、前年同月比88%。年度当初で工事が停滞している。今後本格化すれば出荷量も上向く見通し。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。下関地区で値上げの動きが続いており、注視している。	生コンクリート製造業
	梅雨入りすると先の天候を見ながら、現場か工場での加工か、仕事の内容を選択する必要があるが、今年は雨の日が少なく、現場の仕事が出来て比較的順調である。	石工品製造業
一般機器	6月の景況は、前月に引き続き概ね順調。鋼構造物製造、機械設備関係は、人手が足りないくらい順調な受注。設備機械を製造している組合員は、マレーシアを主とした東南アジア関係の受注も順調で、全般的には昨年を上回ったとのこと。	一般機械器具製造業 防府市
	従来からの機械製造関係、食品加工、スーパー等に加え農業、食肉加工業からも人手不足から、外国人技能実習生受け入れ、増員の相談あり。介護職からの問い合わせも増えている。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上高が微増しているが、前年と比べると不変の範囲。	一般機械器具製造業 宇部市
	6月の金型の設備操業度は4月、5月の受注が低迷したため、5月より少し低下。出荷は予定通り半期目標予算はクリア出来た。金型の受注は6月中旬以降から決まりつつあり、7月設備操業度は上昇の予定。6月末で9月中旬納期分を受注できているが、月の目標額からするとまだ不足している。見積り案件は、特殊な樹脂に対応する金型、インサート成形金型が多く見られる。どこでも作れる金型は価格が	特殊産業用機械製造業

	安い他社へ流れるため、付加価値の高いものづくりをしなければ取り残されるので、取り残されないよう日々努力中である。成形製品の生産状況は新規製品が始まり設備稼働率が上昇する傾向にあるものの、品質クレームを発生させない事や納期順守に細心の注意を払い稼働効率を高める必要に迫られている。	
輸送機器	鉄道車両部門は、本格的な上昇機運にはないが、作業量は長・短期的に見通しは明るい。コストの低減要請が厳しく苦しい経営が続いている。精密加工部門は昨年並みの状況が数ヶ月続いている。	鉄道車両・同部品製造業
	人材不足が続いている。	船舶製造・修理業
卸売業	夏場に向けて、製氷を含む夏商品の動きが活発になってきた。また、世界スカウトジャンボリー用の製氷のストックも急ピッチで行われている。	各種商品卸売業
	売上は悪化している。6月20日から“いりこ”の入札が始まり、他の製品の在庫も若干増えつつあり、今は様子見の状況。	乾物卸売業
	魚種（タイ、イサキなど）の入荷は多いが値が安いので、収益が悪化している。鱧のシーズンであるが昨年並みの売上で、“ふく”は相変わらず品薄で高値である。	生鮮・魚介卸売業
小売業	各メーカーも売上のノルマ達成のため見本品等有料化しており、今までにない経費が発生している。業界は後継者問題も含めて化粧品店経営はだんだん難しくなっている。組合の活動としては7月に広島県で中国ブロック大会が開催される。	化粧品小売業
	小売業では、売上が不変の組合員が多い。7月4日より販売のプレミアム付商品券に期待しているが、消費者の買い控え感も感じている。販売額は岩国市全体で12億円、由宇・通津地区で8,750万円。地区内の中小企業者の動向は、倒産情報が少なく景気が良好に見えるが小規模企業は何とか事業継続している状況で、前月と変わりがない。求人倍率が上昇しているが、雇用のミスマッチは依然継続中。特に建設・警備・介護・飲食業の人手不足が顕著である。	各種商品小売業 岩国市
	七夕、夏祭りは例年通り実施が決定。	各種商品小売業 周南市
	前年同月より休日が一日少ないにもかかわらず、売上が若干増。	各種商品小売業 山口市
	業界の景況は5月と同様の状況。7月、別館に酒のディスカウントストアが新規オープン予定である。	各種商品小売業 長門市

商店街	6月から使用開始のプレミアム付商品券による売上に期待をしていたが、山口地区は各店舗の回収率も悪く低調な模様。7月下旬からの夏のセールでの売上に期待しているが、なにより夏商品が売れる“暑い夏”であるように期待している。	山口市
	5月はプレミアム付商品券の影響もあり多少売上が良かったが、6月は影響も一段落したのか、個店の売上げも伸びていない。土曜夜市等の商店街内でのイベントで商品券が使用されることに期待している。夏の提灯の季節となったが、提灯の顧客は高齢化し、後継者の若い人は関心が薄く売上に影響が出ている。	萩市
サービス業	大手の収入は良くボーナスも上がっているもようだが、まだ、中小・個人営業はそうでもない。10,000円で12,000円の買物が出来るプレミアム付商品券で、景気向上が図られているが、これを機に地域購買力が高まることを期待している。	美容業
	理容業界を取り巻く環境は依然として厳しく、高齢者等の脱退が問題。政府の規制改革会議で理容師、美容師の見直しが話題となっており、心配。	理容業
	県内のハイブリッド車は毎年約1万台増加の傾向。新技術対応が急がれる。業界の景況は5月と同様の状況であり、大きな変化はない。	自動車整備業
	2013年4月の「自動車保年等級制度の改定」後、任意保険を利用すると保険料が高くなる為、任意保険利用の事故車の入庫が減少。事故を起こさない運転支援システム搭載の新技術等により事故車の入庫が減少している。更に電気制御等の新技術に対応する設備も必要になり、今まで以上に経営努力が必要となっている。	
	会員数がこれから増加していく時期。少子化の影響はある。梅雨が早く開け、暑い夏になることを願う。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上高とも前年並み。	旅館業 山口市
	アベノミクス効果と各種コンベンション誘致の効果ではないかと話す組合員もあり、全体的に売上が増加している。但し、雇用は例年より厳しく悩んでいる施設が増え、外国人雇用に向けて検討をしている組合員もある。	旅館業 下関市
	当社の重要収益である温泉利用者の減少に歯止めがかからない状況で、売上高は14%の減少となった。人件費を含む管理費の削減が進み、営業損益の変化は見られない。サービス業の環境は地域事業者の継承が悪化となり厳しい状況となった。	旅館業 長門市

	それぞれの地区での地道な改善努力のみが効果を生んでおり、県全体としての著しい改善は見られない。組合としては、創立50周年の今年を新たな出発点として、業界活性化のための効果ある活動・キャンペーン等を仕掛けていきたい。	飲食業
	5月の繁忙期が天候不順で大きな山がなく、6月上旬まで何とか継続した感じ。梅雨入り後、雨の日が少なく布団やカーペットなどが多く出てきた。しかしコインランドリーで自分で洗う人が増え、全体的に毛布・布団は需要減少の傾向である。	普通洗濯業
建設業	中電への工事申請は5月150件（当支部分119件）、前年同月172件（同137件）。太陽光発電への申請30件、オール電化申請35件（前年は太陽光21件、オール電化55件）。LED街路灯への切替・新設申請は32件（前年46件）であった。	電気工事業
	工事量が一時的に減少している。東京を含め全国的な傾向である。	左官業
	大島地区は管工事が比較的発注あり。上関地区は中国電力関係の道路工事があるが、他柳井地区は少量。同じ柳井地区でも発注に地域差があり、地域、工期等の平準化は中々困難な模様である。	土木工事業 柳井市
	東京で仕事がたくさんあるらしく、若い人が何人も辞めて東京に行った。職人がいないので、仕事を受けることも難しい状態の組合員もおり、結局のところ景気は良いのか悪いのか解からない。	土木工事業 下松市
	27年6月の受注高は、対前年同月比で812%。今年度の累計では対前年比18%。	土木工事業 萩市
	発注が始まり全体の発注量は昨年同様と予測ができ、以前よりは落ち着いているが、土木関連はまだ仕事の発注量が少なく、競争が激しくなっている模様。人材不足は続いているが、採用しても一人前になるのに時間がかかるので採用も難しい。	管工事業
運輸業	国内外とも輸送量が前年同月比で約40%の減少。平成27年3月までの車両不足は解消されたが、ある資材の軽量化材質への変更に伴い必要車両数が減り、車両のだぶつきが目立った。燃料費は2.1円とじわじわと値が上がっている。軽油引取税を下げてほしいとの要望が強い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	平年並みの稼働。燃料価格はこの数ヶ月上昇基調であるが、前年からすれば下値であり、このままと基準を維持し推移してくれることに期待している。運転手不足が解消せず、最大の課題である。	一般貨物自動車運送業 防府市
	荷動きは決して多くはないが安定しており、若干の乗務員の不足が見られる。倉庫保管案件は増えつつある。少しずつ燃料が継続的に値上がり、収益への	一般貨物自動車運送業 宇部市

	影響が感じられる。	
	下関地区はMERSの影響で関釜フェリーの乗客と物資が減少し、景況感が下がっている。軽油は1ℓ当たり96円となり、この値上がりも心配材料。ETC事業は東京から東北への荷物が良く稼働している。組合員は安全運行・無事故で頑張っている。	一般貨物自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込）は、前年比▲4.9%（平成27年5月1日～平成27年6月20日分）。平成27年5月1日～30日分は▲8.4%、平成27年6月1日～20日分は+0.3%となった。5月分が大幅な減少となったのは、周南地区が工場等の企業中心で観光レジャーがあまりない為、連休中の需要が激減したことも要因であったと考えられるが、地方経済が決して回復状態でないことを表していると思う。主要燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動するが、為替は円安だが、ブタン、プロパンのCPは前月分よりも下がり、購入単価は先月より少し安く、高騰した前年より22%安価で、車両代や整備費の上昇している中、大いに助かっている。売上の減少に伴い乗務員の確保が難しく稼働台数が減少し、急な雨降り等で配車依頼が急増した場合等でお客様を待たせることもある。	一般旅客自動車運送業